
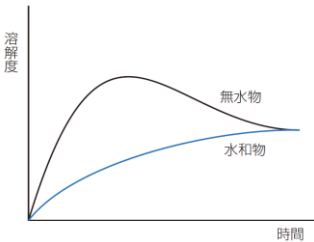
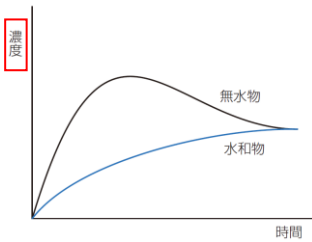
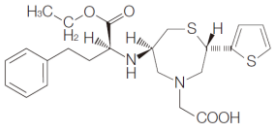
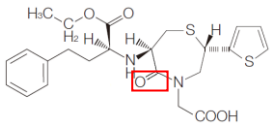
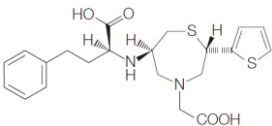
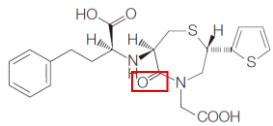




この度は、「薬剤師国家試験対策参考書[改訂第8版]⑥薬剤」をご購入いただき、誠に有難うございます。
 本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。
 ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 青本[改訂第8版]⑥薬剤 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
Pxvii 1.3.4 粉体の性質		削除
P39 3 リンパ管系への移行 2行目	……炭素数が 10 以上の……	……炭素数が <u>12</u> 以上の……
P72 ●競合阻害と非競合阻害 模式図		
P74 ●脳への薬物移行経路と血液脳関門、血液脳脊髄液関門との関係 左上	血液能関門	血液 <u>脳</u> 関門
P109 3 薬物の抱合 2行目	……酢酸、 <u>アミノ酸</u> などの……	……酢酸などの……
P146 ●尿細管分泌機構の模式図		
P148 2.5.3 1 腎クリアランス	<p>血漿中薬物濃度を C_p として、腎臓から消失した薬物量を腎クリアランスで表すと、 消失した薬物量 = $CL_r \cdot C_p$ また、尿中へ排泄された薬物量を尿のデータから表すと、 尿中へ排泄された薬物量 = $U \cdot V$ 腎で消失した薬物量は尿中に排泄されるので、 消失した薬物量 = 尿中へ排出された……</p>	<p>血漿中薬物濃度を C_p として、<u>単位時間あたり</u>に腎臓から消失した薬物量を腎クリアランスで表すと、 <u>単位時間あたり</u>に消失した薬物量 = $CL_r \cdot C_p$ また、<u>単位時間あたり</u>に尿中へ排泄された薬物量を尿のデータから表すと、 <u>単位時間あたり</u>に尿中へ排泄された薬物量 = $U \cdot V$ <u>単位時間あたり</u>に腎で消失した薬物量は尿中に排泄されるので、 <u>単位時間あたり</u>に消失した薬物量(消失速度) = <u>単位時間あたり</u>に尿中へ排出された……</p>

P149 2 腎クリアランス法 3行目	……ろ過クリアランス($CL_r \cdot f_p$)……	……ろ過クリアランス($GFR \cdot f_p$)……												
P150 (1)イヌリン、クレアチニン ③	……(よって、臨床的にクリアランスが…)	……(よって、臨床的に <u>クレアチニンクリアランス</u> が……)												
P293 Exercise 解答	180 mg	<u>1.8 g</u>												
P335 ●一般的な年齢別クレアチニンクリアランス 見出し	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>男性(mL/min)</th> <th>女性(mL/min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年齢	男性(mL/min)	女性(mL/min)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>男性 (mL/min/1.73m²)</th> <th>女性 (mL/min/1.73m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年齢	男性 (mL/min/1.73m ²)	女性 (mL/min/1.73m ²)			
年齢	男性(mL/min)	女性(mL/min)												
年齢	男性 (mL/min/1.73m ²)	女性 (mL/min/1.73m ²)												
P336 b)分布 下から 2行目	……非結合形薬物濃度が……	……非結合形薬物の <u>割合</u> が……												
P338 まとめ 分布 2行目	……(成人は薬 60%)	……(成人は <u>約 60%</u>)												
P484 1.3.4 粉体の性質		削除												
P500 ●水和物と無水物の溶解度の変化														
P804 (4) テモカプリルの構造式														
P804 (4) テモカプリラートの構造式														

下表は、薬ゼミ・オンライン教室のWEB サイト改訂に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P325 3.3.1 生理学的モデルとクリアランス MEMO 欄 QRコード	差替え	
P399 1.1.2 物質の溶解とその速度 MEMO 欄 左のQRコード	差替え	

※本書記載の参照頁“→「第〇章 〇.〇.〇 ……」p.〇参照”は、該当の内容が記載されている〇.〇.〇が始まる頁を示しております。